

平成 27 年度用小学校音楽

指 導 計 画 案

株式会社 教育芸術社

【本資料について】

- ・インターネット上で公開されている本資料は、弊社発行の平成 27 年度用小学校音楽教科書「小学生の音楽」に基づいて作成されております。

【本資料の扱い方について】

- ・扱い時数は目安を示したものです。行事などで授業時数に変更が生じてしまう場合には、巻末教材に配当された時数を活用したり、教材の選択や学習活動に軽重を付けたりするなどの調整を適宜行ってください。
- ・ここに掲載されている評価規準は、国立教育政策研究所が作成した「評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料」を参考にして、本資料に示された学習内容に即して設定された一つの参考例です。各学校や児童の実態に応じて評価規準を設定する際の一助としてご活用ください。
- ・本資料では、1 時間当たり 1～2 項目に精選して評価規準を示しています。学習指導要領との関連で示した項目がすべての評価項目に反映されていないことがあります。学習内容の中には反映されていますので、授業時数や1年間の評価計画に応じて、ご設定ください。

【2 学期制への対応について】

- ・本資料は 2 学期制、3 学期制にかかわらず、活用することができます。週ごとの授業時数や長期休暇の実施時期などは地域や学校ごとに異なっているため、各校の実態に応じて扱い時数などを調整しながら指導される学期や月を設定してください。なお、各題材の関連やくくりなどを確認するための題材の系統性につきましては、「6 年間の題材の系統一覧」をご覧ください。

題材名	1. うたでなかよしになろう (4月)	扱い時数の目安
		6時間
題材のねらい	●友達と一緒に歌ったり体を動かしたりする楽しさを感じ取りながら、音楽への興味・関心をもつ。	
題材の意図	<p>この題材は、入学してまもない子供たちが、音楽に対して興味・関心を持ち、早く学校生活に慣れて、楽しい気分で学習を進めることができるようにするとともに、新しい友達と出会い、仲よくなっていくことができるようにすることに重点を置いて設定してあります。</p> <p>そのためにここでは、新しく出会った友達と互いに声をそろえて歌ったり、音楽に合わせて遊んだりする活動を通して、友達と一緒に表現する楽しさを感じ取ることができるように工夫されています。絵の中から見つけた歌を歌ったり、歌いながら遊んだりする活動によって、音楽から遊びへ、遊びから友達づくりへと幅広く展開して、子供たちと音楽との出会いを楽しいものにしていきましょう。</p> <p>また、伴奏に合わせて歌ったり体を動かしたりするなどの活動を通して、拍の流れを自然に感じることができるようにするとよいでしょう。</p>	
学習指導要領との関連	ア 音楽を形づくっている要素のうち、(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語	
	A表現(1)歌唱ア・イ [共通事項]ア(ア)速度、強弱、 拍の流れ (イ)問いと答え	

※本題材の学習内容に関連する〔共通事項〕を例示し、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
①音楽に合わせて体を動かしたり、友達と声を合わせて歌ったりする学習に進んで取り組もうとしている。 ②絵から歌を見付けることに興味・関心を持ち、範唱に合わせて歌ったり体を動かしたりする学習に楽しんで取り組もうとしている。	①拍の流れを感じ取りながら、体の動かし方や歌い方を工夫している。 ②範唱を聴き、歌詞の表す様子を思い浮かべたり、楽曲の気分を感じ取ったりして表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	①拍の流れを感じ取って、体を動かしながら声を合わせて歌っている。 ②音楽に合わせて、友達と一緒に歌ったり遊んだりしている。	/

学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
みんなで いっしょに うた って、ともだちをつくりま しょう。	うたで さんぽ	1 2	●挿絵の中から気付いたことを発表する。 ●互いの声を聴き合いながら「こぶたぬきつねこ」を歌う。 ●拍の流れを感じ取り、体を動かしながら聴いたり歌ったりする。	◆音楽に合わせて体を動かしたり、友達と声を合わせて歌ったりする学習に進んで 取り組もうとしている。 【関① 演奏観察, 表情観察】 ◆絵から歌を見付けることに興味・関心を持ち、範唱に合わせて歌ったり体を動か したりする学習に楽しんで取り組もうとしている。 【関② 表情観察, 行動観察】
ともだちと いっしょに な かよく うたいましょう。	ぞうさんの さんぽ てと てで あいさつ	3 4	●範唱を聴いて歌ったり、象のまねをしたりして楽しむ。 ●歌ったり体を動かしたりして、友達と一緒に歌うことを楽しむ。	◆拍の流れを感じ取りながら、体の動かし方や歌い方を工夫している。 【創① 発言内容, 行動観察】 ◆拍の流れを感じ取って、体を動かしながら声を合わせて歌っている。 【技① 演奏聴取】
みんなで あそびながら た のしく うたいましょう。	◎ひらいた ひらいた	5 6	●音楽に合わせて歌い方や体の動きを工夫しながら歌ったり遊んだり する。 ●花の様子を思い浮かべ、歌詞の内容に合った歌い方や体の動きの工夫 を生かして遊ぶ。	◆範唱を聴き、歌詞の表す様子を思い浮かべたり、楽曲の気分を感じ取ったりして 表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 【創② 行動観察, 発言内容】 ◆音楽に合わせて、友達と一緒に歌ったり遊んだりしている。 【技② 演奏聴取】

題材名	2. はくを かんじて あそぼう (5月)	扱い時数の目安
		5 時間
題材のねらい	●音楽に合わせて体を動かしながら歌ったり聴いたりして、拍の流れを感じ取る。	
題材の意図	<p>この題材では、音楽の様々なリズムを感じ取ったり表現したりするための根幹となる「拍」に焦点を当てた学習を進めます。子供たちになじみ深い歌を聴きながらそれに合わせて手拍子を打ったり足踏みをしたりするなど体の動きを取り入れた鑑賞や、指導者の手拍子に合わせて名前遊びをする活動などを通して、楽しみながら拍の流れを感じ取る学習を進めていきます。</p> <p>音楽のリズムの多くは、規則的に刻まれる拍の流れの上に成り立っており、リズムの学習は、この拍の流れを感じ取ることからその第一歩が始められます。次の題材「3. はくを かんじて リズムを うと う」から始める簡単なリズムを演奏する学習の準備段階として、拍の流れを感じ取って表現する活動に慣れるようにしましょう。</p> <p>なお、この題材は、2年生の題材「2. はくの まとまりを かんじとろう」へとつながります。</p>	
学習指導要領との関連	ア 音楽を形づくっている要素のうち、(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語	
	A表現 (1) 歌唱ア・イ (3) 音楽づくりア B鑑賞 ア [共通事項] ア (ア) リズム, 拍の流れ , フレーズ (イ) 問いと答え	

※本題材の学習内容に関連する〔共通事項〕を例示し、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
①音楽に合わせて歌ったり体を動かしたりして、拍の流れを感じ取る学習に進んで取り組もうとしている。 ②拍の流れを感じ取って返事をしたり、言葉のリズムを生かして表現したりする学習に楽しんでいる。	①拍の流れにのる面白さを感じ取りながら、言葉を選び、表現を工夫している。 ②リズムやフレーズを聴き取り、それらと拍の流れとのかかわり合いを感じ取って、様子を思い浮かべながら表現の仕方を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	①拍の流れを感じ取って手拍子を打ったり、「●●●(はい)」の言葉でリレーをしたりしている。 ②歌詞の表す様子や気持ち、楽曲の気分合った表現で歌っている。	①拍の流れや楽曲の気分を感じ取って、手拍子を打ったり足踏みをしたりしながら、楽しんで聴いている。

学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
おんがくに あわせて からだを うごかしましょう。	♪さんぽ	1	<ul style="list-style-type: none"> ●音楽を聴いて、楽曲の気分を感じ取る。 ●楽曲の気分に合わせて体を動かしながら聴く。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆音楽に合わせて歌ったり体を動かしたりして、拍の流れを感じ取る学習に進んで取り組もうとしている。 【関① 表情観察，行動観察】 ◆拍の流れや楽曲の気分を感じ取って、手拍子を打ったり足踏みをしたりしながら、楽しんで聴いている。 【鑑① 表情観察，行動観察】
はくを かんじながら なまえあそびを しましょう。	なまえあそび	2 3	<ul style="list-style-type: none"> ●「なまえあそび①」をして、拍の流れを感じ取る。 ●拍の流れを感じ取りながら、「なまえあそび②」をする。 ●言葉のリズムを感じ取って、「なまえあそび②」のリレーを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆拍の流れを感じ取って返事をしたり、言葉のリズムを生かして表現したりする学習に楽しんで取り組もうとしている。 【関② 行動観察，表情観察】 ◆拍の流れにのる面白さを感じ取りながら、言葉を選び、表現を工夫している。 【創① 行動観察】 ◆拍の流れを感じ取って手拍子を打ったり、「●●● (はい)」の言葉でリレーをしたりしている。 【技① 表現聴取】
はくによって、からだをうごかしながらうたいましょう。	◎かたつむり	4 5	<ul style="list-style-type: none"> ●範唱を聴いて、かたつむりの様子を思い浮かべながら曲の感じをつかんで歌う。 ●拍の流れを感じ取って、いろいろな歌い方を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆リズムやフレーズを聴き取り、それらと拍の流れとのかかわり合いを感じ取って、様子を思い浮かべながら表現の仕方を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 【創② 発言内容，演奏聴取】 ◆歌詞の表す様子や気持ち、楽曲の気分合った表現で歌っている。 【技② 演奏聴取】

題材名	3. はくを かんじてリズムを うとう (6~7月)	扱い時数の目安
		1 2 時間
題材のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●歌ったり体を動かしたりしながら、拍の流れを感じ取る。 ●リズムの違いに気付き、拍の流れを感じ取って簡単なリズムを演奏したり、リズムに合う言葉を選び組み合わせる表現したりする。 	
題材の意図	<p>この題材は、前の題材で学習した拍の流れを感じ取って、基本的なリズムパターンを楽しみながら表現することに重点を置いて設定しています。拍の流れやリズムに対する感覚、表現の技能を身に付けるために、歌うこと、聴くこと、体の動きを使って表現することなど、多彩な活動を通して体験するようにしています。</p> <p>ここでは、子供たちが日常的に触れることの多いじゃんけん遊びの動きを通して、4分音符と4分休符が組み合わせられた最も基本的なリズムを表現することから始めます。次に、よりまとまりのあるリズムや、拍を分割することによって生じる8分音符を含むリズムの学習を、段階的に進めていきます。リズムの違いやまとまりを感じ取って、拍の流れやリズムに対する感覚を楽しみながら育てていきましょう。</p> <p>また、この題材の学習を始めるに当たっては、「拍」と「リズム」は同一のものではないことをあらためて確認しておくとい良いでしょう。</p> <p>この題材で身に付けた力は、2年生の題材「4. ひょうしを かんじてリズムを うとう」へと発展します。</p>	
学習指導要領との関連	<p>ア 音楽を形づくっている要素のうち、(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み</p> <p>イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語</p>	
	<p>A表現 (1) 歌唱ア・イ・ウ (2) 器楽ア・ウ・エ (3) 音楽づくりア・イ</p> <p>B鑑賞 ア・イ</p> <p>〔共通事項〕ア (ア) 音色, リズム, 強弱, 拍の流れ, フレーズ</p> <p>(イ) 反復, 問いと答え</p>	

※本題材の学習内容に関連する〔共通事項〕を例示し、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
<p>① 範唱を聴いて歌ったり、たん たん たん・ のリズムや拍の流れを感じ取って歌ったりする学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>② 自分の歌声や発音に気を付けて歌う学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>③ 身近な楽器に親しみ、音色に気を付けてリズムを演奏する学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>④ 歌詞の表す情景を想像したり、楽曲の気分を感じ取ったりし、思いをもって歌う学習に進んで取り組もうとしている。</p>	<p>① 言葉のもつリズムを聴き取り、同じリズムの反復や異なるリズムの組合せによる違いを感じ取りながら、二つのリズムの組合せを工夫し、どのようなリズムをつくるかについて思いをもっている。</p> <p>② 歌詞の表す情景を想像したり、楽曲の気分を感じ取ったりして表現を工夫し、どのように歌うかについて自分の考えや願いをもっている。</p>	<p>① 範奏を聴いたり絵譜を見たりして、カスタネットを演奏している。</p> <p>② 範唱や範奏、伴奏などを聴いたり、絵譜を見たりして、拍の流れを感じ取って歌ったり打楽器を演奏したりしている。</p> <p>③ リズムに合う言葉を見つけ、拍の流れを感じ取ってリズムをつくっている。</p>	<p>① リズムや拍の流れを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取って、体を動かしながら楽曲全体にわたる気分を楽しんで聴いている。</p>

学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
たん たん たん・の リズムを うちましよう。	じゃんけんぼん	1	●たん たん たん・のリズムを感じ取る。	◆範唱を聴いて歌ったり、たん たん たん・のリズムや拍の流れを感じ取って歌ったりする学習に進んで取り組もうとしている。 【関① 行動観察, 演奏観察】
たん たん たん たん たん たん たん・の リズムを うちましよう。	みんなで あそぼう	3	●たん たん たん たん たん たん たん・のリズムを感じ取りながら表現する。	◆自分の歌声や発音に気を付けて歌う学習に進んで取り組もうとしている。 【関② 表情観察, 演奏観察】
たん・ たん・ たん たん たん・の リズムを うちましよう。	♪しろくまの ジェンカ	5	●たん・ たん・ たん たん たん・のリズムを感じ取りながら、音楽を楽しんで聴く。	◆リズムや拍の流れを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取って、体を動かしながら楽曲全体にわたる気分を楽しんで聴いている。 【鑑① 表情観察, 行動観察】
たん たん たん・ たん たん たん・の リズムを うちましよう。	ぶん ぶん ぶん	7	●歌ったりリズムを打ったりして、拍の流れを感じ取る。	◆身近な楽器に親しみ、音色に気を付けてリズムを演奏する学習に進んで取り組もうとしている。 【関③ 演奏観察】
ことばをつかって おんがくをつくりましよう。	☆ことばで リズム	9	●拍の流れを感じ取って、言葉でリズム遊びをする。	◆言葉のもつリズムを聴き取り、同じリズムの反復や異なるリズムの組合せによる違いを感じ取りながら、二つのリズムの組合せを工夫し、どのようなリズムをつくるかについて思いをもっている。 【創① 発言内容, 演奏観察】
うたにあわせて、からだをうごかしながらうたいましよう。	◎うみ	11	●海の情景を思い浮かべながら、3拍子の拍の流れを感じ取って歌う。	◆歌詞の表す情景を想像したり、楽曲の気分を感じ取ったりして表現を工夫し、どのように歌うかについて自分の考えや願いをもっている。 【創② 演奏観察, 発言内容】
		12	●3拍子の拍の流れを感じ取り、歌詞の情景を想像しながら、のびのびと歌う。	◆歌詞の表す情景を想像したり、楽曲の気分を感じ取ったりし、思いをもって歌う学習に進んで取り組もうとしている。 【関④ 発言内容, 演奏観察】

題材名	4. どれみでうたったりふいたりしよう (9~10月)	扱い時数の目安 10時間
題材のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●階名で模唱や暗唱をしたり、まねっこ遊びをしたりして、階名に親しむ。 ●鍵盤ハーモニカの基本的な演奏の仕方を身に付けたり、きれいな音に気付いて聴いたりする。 	
題材の意図	<p>この題材では、これまでに学習してきた拍の流れやリズムなどに対する感覚を土台にして、新たに鍵盤ハーモニカの基本的な演奏の仕方を身に付ける学習を進めていきます。</p> <p>楽器に親しむに当たっては、導入の段階から常に「きれいな音による表現」を心掛けて演奏できるように、「表現の技能」と「音色に対する感覚」の両面から学習を進めます。</p> <p>また、鍵盤ハーモニカの学習と並行して、旋律を階名で模唱したり暗唱したりする活動を通して、音高の違いを感じ取りながら音程感を養う学習も進めます。音程に対する感覚は、正しい音程で歌ったりみんなで声を合わせて合唱したりする音楽活動を行ううえで、とても重要な能力の一つです。</p> <p>なお、この題材は、2年生の題材「3.音のたかさのちがいをかんじとろう」へつながります。ふだんの授業から階名唱の活動を繰り返し行い、子供たちの音程感覚を着実に育てていくようにしましょう。</p>	
学習指導要領との関連	<p>ア 音楽を形づくっている要素のうち、(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み</p> <p>イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語</p>	
	<p>A表現 (1) 歌唱ア・ウ (2) 器楽ア・イ・ウ</p> <p>B鑑賞 イ</p> <p>〔共通事項〕ア (ア) 音色、旋律、拍の流れ (イ) 問いと答え</p>	

※本題材の学習内容に関連する〔共通事項〕を例示し、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
<p>① 鍵盤ハーモニカの音色や演奏に興味・関心を持ち、音の出し方に気を付けて演奏する学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>② 鍵盤ハーモニカに親しみ、音色に気を付けて簡単な旋律を演奏する学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>③ 音の高低を感じ取りながら階名で模唱したり暗唱したりする学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>④ 範唱を聴き、ド～ソの音を使って模奏したり模唱したりする学習に進んで取り組もうとしている。</p>	<p>① 音の高低や長短を聴き取り、それらの働きが生み出す面白さを感じ取って、音の出し方を工夫している。</p> <p>② 音色や旋律を聴き取り、音の高低を感じ取りながら音の出し方を工夫し、どのように歌ったり演奏したりするかについて思いをもっている。</p>	<p>① 鍵盤の位置を覚え、音色に気を付けて鍵盤ハーモニカを演奏している。</p> <p>② 運指や音色に気を付けて、鍵盤ハーモニカを演奏している。</p> <p>③ 音の高さの違いに気を付けて、階名で模唱したり暗唱したりしている。</p>	<p>① 演奏の仕方や音色が生み出すよさや面白さを感じ取りながら、音色と旋律のかかわり合いに気を付けて聴いている。</p>

学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
けんぱんハーモニカをふきましょう。	♪みつばちの ぼうけん たのしく ふこう	1 2	●場面や様子を想像しながら、鍵盤ハーモニカの音色のよさに気付いて聴く。 ●音の高低や長短を工夫して、いろいろな音を吹く。	◆演奏の仕方や音色が生み出すよさや面白さを感じ取りながら、音色と旋律のかかり合いに気を付けて聴いている。 【鑑① 表情観察, 発言内容】 ◆音の高低や長短を聴き取り、それらの働きが生み出す面白さを感じ取って、音の出し方を工夫している。 【創① 演奏観察】
どと その いちをおぼえましょう。	♪どんぐりさんの おうち	3	●音の出し方に気を付けて、鍵盤ハーモニカの演奏の仕方に親しむ。 ●息の強さに気を付けて、鍵盤ハーモニカを演奏する。	◆鍵盤ハーモニカの音色や演奏に興味・関心をもち、音の出し方に気を付けて演奏する学習に進んで取り組もうとしている。 【関① 行動観察, 演奏聴取】 ◆鍵盤の位置を覚え、音色に気を付けて鍵盤ハーモニカを演奏している。 【技① 演奏聴取】
どれみの いちをおぼえてふきましょう。	♪どれみで あいさつ どれみの まねっこ	4 5	●音の高さの違いを感じ取りながら、鍵盤ハーモニカのド、レ、ミの位置を覚える。 ●運指や音色に気を付けて、鍵盤ハーモニカを演奏する。 ●音色に気を付けて「どれみの まねっこ」遊びをする。	◆鍵盤ハーモニカに親しみ、音色に気を付けて簡単な旋律を演奏する学習に進んで取り組もうとしている。 【関② 行動観察】 ◆運指や音色に気を付けて、鍵盤ハーモニカを演奏している。 【技② 演奏聴取】
どれみふぁその いちをおぼえてふきましょう。	♪なかよし どれみふぁその まねっこ	6 7 8	●音の高さの変化を感じ取って、旋律を階名唱する。 ●鍵盤ハーモニカのファとソの位置を覚える。 ●歌の組と鍵盤ハーモニカの組に分かれて演奏する。 ●音色に気を付けて「どれみふぁその まねっこ」遊びをする。	◆音の高低を感じ取りながら階名で模唱したり暗唱したりする学習に進んで取り組もうとしている。 【関③ 演奏観察】 ◆音色や旋律を聴き取り、音の高低を感じ取りながら音の出し方を工夫し、どのように歌ったり演奏したりするかについて思いをもっている。 【創② 演奏聴取】 ◆範唱を聴き、ド～ソの音を使って模奏したり模唱したりする学習に進んで取り組もうとしている。 【関④ 行動観察, 演奏観察】
おとの たかさを たしかめながら どれみで うたいましょう。	♪どんぐりさんの おうち (階名唱) どれみの まねっこ	9 10	●音の高さの違いに気を付けて階名唱する。 ●音の高さの違いを意識して「どれみの まねっこ」遊びをする。	◆音の高低を感じ取りながら階名で模唱したり暗唱したりする学習に進んで取り組もうとしている。 【関③ 演奏観察】 ◆音の高さの違いに気を付けて、階名で模唱したり暗唱したりしている。 【技③ 演奏聴取】

題材名	5. ようすをおもいうかべよう (10~11月)	扱い時数の目安
		6時間
題材のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●楽曲の気分を感じ取りながら、想像豊かに聴いたり思いをもって表現したりする。 ●歌詞の表す様子や気持ちを想像して、楽曲の気分合った表現を工夫して歌う。 	
題材の意図	<p>この題材では、音楽を聴いて場面の様子を想像しながら楽曲の気分を感じ取ったり、音楽に合わせて体を動かしたりする活動を通して、鑑賞する楽しさを味わいます。また、歌詞の表す様子や気持ちを想像し、思いをもって表情豊かに歌うことに焦点を当てた学習を進めていきます。</p> <p>これまでは、音楽を表現するうえで必要な拍の流れやリズム、音程に対する感覚を中心に学習してきましたが、ここでは、表現を豊かなものにするために必要な子供たちの感性を育てることに重点を置いて展開するようにします。歌詞の表す様子や気持ちを想像しながら、楽曲の気分や語感に合った表現を工夫して歌う学習を進め、2年生の題材「6. ようすをおもいうかべよう」の学習へとつなげていきます。</p>	
学習指導要領との関連	<p>ア 音楽を形づくっている要素のうち、(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み</p> <p>イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語</p>	
	<p>A表現 (1) 歌唱イ・ウ B鑑賞 ア・ウ [共通事項] ア (ア) 音色, 速度, 旋律, 強弱, 拍の流れ (イ) 反復</p>	

※本題材の学習内容に関連する〔共通事項〕を例示し、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
①想像したことや感じ取ったことを言葉や体を使って表すなどして、楽曲や演奏の楽しさに気付いて聴く学習に進んで取り組もうとしている。 ②歌詞の表す様子や気持ちを想像しながら歌う学習に進んで取り組もうとしている。	①歌詞の表す様子や気持ちを想像して、発音や表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	①旋律のまとまりや拍の流れを感じ取りながら、正しい音程やリズムで歌っている。 ②歌詞の表す様子や気持ちに合った表現で歌っている。	①想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の楽しさや演奏のよさに気付いて聴いている。

学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	の扱 目安 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
こねこたちが おどっている ようすを おもいうかべながら ききましょう。	♪おどる こねこ	1 2	●猫の様子を思い浮かべながら、楽曲全体の気分を楽しむ。 ●場面の様子を思い浮かべて、楽曲の気分の変化を感じ取って聴く。	◆想像したことや感じ取ったことを言葉や体を使って表すなどして、楽曲や演奏の楽しさに気付いて聴く学習に進んで取り組もうとしている。 【関① 行動観察，発言内容】 ◆想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の楽しさや演奏のよさに気付いて聴いている。 【鑑① 行動観察，発言内容】
はくによって、のびのびとうたいましょう。	◎ひのまる	3 4	●旋律の特徴を感じ取って歌う。 ●旋律や拍の流れに気を付けて、のびのびとした声で歌う。	◆歌詞の表す様子や気持ちを想像しながら歌う学習に進んで取り組もうとしている。 【関② 行動観察，演奏聴取】 ◆旋律のまとまりや拍の流れを感じ取りながら、正しい音程やリズムで歌っている。 【技① 演奏聴取】
かきをたいせつにしたいきましょう。	はる なつ あき ふゆ	5 6	●歌詞の表す様子や気持ちを想像しながら歌い、表現の仕方を工夫する。 ●歌詞の表す様子や気持ちに合う表現の仕方を工夫し、表情豊かに歌う。	◆歌詞の表す様子や気持ちを想像して、発音や表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 【創① 発言内容，表情観察，演奏聴取】 ◆歌詞の表す様子や気持ちに合った表現で歌っている。 【技② 演奏聴取】

題材名	6. いろいろなおとをたのしもう (11~12月)	扱い時数の目安
		9時間
題材のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●身近な楽器の音色の特徴を感じ取り、演奏の仕方や楽器の音色に興味・関心をもって演奏したり音楽をつくったりする。 ●楽器の特徴的な音色を感じ取り、楽曲のよさや面白さに気付いて聴く。 	
題材の意図	<p>この題材では、いろいろな音に対する興味・関心を育てながら、音色の違いや音の様々な特徴をとらえて表現の仕方を工夫することに重点を置いています。</p> <p>音色が生み出す面白さを楽しみながら聴く鑑賞の学習を十分に深め、そこで得た楽器の音色への興味・関心をベースにして学習を展開します。打楽器の様々な演奏の仕方を体験し、音色の違いを感じ取りながら、表現の仕方を工夫していきます。</p> <p>前の題材では歌詞の内容から想像をふくらませましたが、本題材では音色を中心にしながら子供たちの表現への考えや願いをはぐくみます。また、鑑賞と表現を関連付けた学習の過程で気付いたり発見したりした音の面白さを十分に生かして音楽づくりにも取り組みます。</p>	
学習指導要領との関連	<p>ア 音楽を形づくっている要素のうち、(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み</p> <p>イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語</p>	
	<p>A表現 (1) 歌唱ア・イ (2) 器楽ア・イ・ウ (3) 音楽づくりア・イ</p> <p>B鑑賞 ア・イ・ウ</p> <p>〔共通事項〕ア (ア) 音色、リズム、強弱 (イ) 反復、問いと答え</p>	

※本題材の学習内容に関連する〔共通事項〕を例示し、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
<p>①打楽器の音色や楽曲の楽しさに気付いて聴く学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>②打楽器の音色に興味・関心をもち、音の鳴らし方を工夫しながら表現する学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>③楽器の音色に興味・関心をもち、自分の思いに合った音を探しながら、音色を生かして音楽をつくる学習を楽しんで取り組もうとしている。</p>	<p>①歌詞の表す様子や気持ちを想像して、それに合った歌い方を工夫し、どのように表現するかについて思いをもっている。</p> <p>②音色や強弱の変化を聴き取り、それらが生み出す面白さを感じ取りながら、場面に合う音や、反復、問いと答えを生かした音楽の表現を工夫し、どのような音楽をつくるかについて思いをもっている。</p>	<p>①星空の様子を思い浮かべながら、自分の歌声や発音に気を付けて歌っている。</p> <p>②身近な楽器に親しみ、自分の音に気を付けて旋律を演奏している。</p> <p>③楽器の音色の特徴に気付き、一つの楽器からいろいろな音の鳴らし方を見付けたり、音楽の仕組みを生かして音楽をつくったりしている。</p>	<p>①楽曲全体にわたる気分を感じ取り、想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の楽しさや演奏のよさに気付いて聴いている。</p>

学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
みみをすましていろいろなおとをききましょう。	♪シンコペテッド クロック	1	●楽器の音色やリズムに気を付けながら聴き、楽曲全体の気分を楽しむ。 ●楽曲全体の気分を感じ取り、楽曲の楽しさや演奏のよさに気付いて聴く。	◆打楽器の音色や楽曲の楽しさに気付いて聴く学習に進んで取り組もうとしている。 【関① 発言内容, 表情観察】 ◆楽曲全体にわたる気分を感じ取り、想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の楽しさや演奏のよさに気付いて聴いている。 【鑑① 行動観察, 発言内容】
ほしぞらのようすにあうおとでえんそうしましょう。	きらきらぼし	2 3 4・5	●楽曲全体の気分を感じ取って歌う。 ●様子を思い浮かべて歌い方を工夫する。 ●鉄琴や鍵盤ハーモニカで演奏して楽しむ。	◆星空の様子を思い浮かべながら、自分の歌声や発音に気を付けて歌っている。 【技① 演奏聴取】 ◆歌詞の表す様子や気持ちを想像して、それに合った歌い方を工夫し、どのように表現するかについて思いをもっている。 【創① 演奏聴取】 ◆身近な楽器に親しみ、自分の音に気を付けて旋律を演奏している。 【技② 演奏聴取】
いろいろなおとをみつけてならしましょう。	おとさがし	6	●音色に気を付けながら、様々な鳴らし方を試し、一つの楽器からいろいろな音を見付ける。	◆打楽器の音色に興味・関心をもち、音の鳴らし方を工夫しながら表現する学習に進んで取り組もうとしている。 【関② 演奏観察, 演奏聴取】
ほしぞらのようすをあらわすおんがくをつくりましょう。	☆ほしぞらのおんがく	7 8 9	●星空の様子に合った音選びをする。 ●星空の様子に合った表現の工夫をする。 ●音楽の終わり方を工夫する。	◆楽器の音色に興味・関心をもち、自分の思いに合った音を探しながら、音色を生かして音楽をつくる学習に楽しんで取り組もうとしている。 【関③ 行動観察, 発言内容】 ◆音色や強弱の変化を聴き取り、それらが生み出す面白さを感じ取りながら、場面に合う音や、反復、問いと答えを生かした音楽の表現を工夫し、どのような音楽をつくるかについて思いをもっている。 【創② 演奏聴取, 発言内容】 ◆楽器の音色の特徴に気が付き、一つの楽器からいろいろな音の鳴らし方を見付けたり、音楽の仕組みを生かして音楽をつくったりしている。 【技③ 演奏聴取】

題材名	7. にほんの うたを たのしもう (1月)	扱い時数の目安
		2時間
題材のねらい	●友達と一緒に歌ったり音楽に合わせて体を動かしたりして、日本に伝わるわらべうたの楽しさを感じ取る。	
題材の意図		
<p>この題材は、友達と一緒に遊びながら歌う楽しさや喜びを味わう活動を通して、我が国に伝承されているわらべうたのよさや面白さに触れることをねらって設定されています。</p> <p>我が国の音楽に親しむ題材については、1年生から6年生まで系統的に構成されており、低学年ではわらべうたを、中学年では日本各地に伝わるお囃子や民謡を教材として取り上げています。さらに、高学年では箏などの和楽器を取り上げて、世界の民族音楽とも関連させた扱いを展開することで、我が国の音楽文化を大切にするとともに、諸外国の音楽文化を大切にすることをねらっています。</p> <p>1年生の本題材は、そうした世代を超えて歌い継がれてきた我が国の音楽文化に親しむ第一段階として設定されていますので、各校の実態に応じて、教科書に取り上げられている楽曲だけではなく、各地に伝承されているわらべうたを取り上げてよいでしょう。また、生活科との関連を図る教材としても活用することができます。</p>		
学習指導要領との関連	ア 音楽を形づくっている要素のうち、(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語	
A表現 (1) 歌唱ア・エ B鑑賞 ア [共通事項] ア (ア) 速度, 旋律 , 拍の流れ		

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
①日本のわらべうたを聴いたり歌ったりする学習に進んで取り組もうとしている。	①拍の流れを感じ取り、速度の変化を工夫して、どのように表現するかについて思いをもっている。	①拍の流れを感じ取って、友達と声を合わせて遊んだり歌ったりしている。	①わらべうたの旋律を聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら聴いている。

※本題材の学習内容に関連する[共通事項]を例示し、核となるものについては、**太字**で示しています。

学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
わらべうたを きいたり う たったり しましょう。	♪さんちゃんが ♪おおなみ こなみ	1	●わらべうたの旋律に親しみ、絵描きうたを楽しむ。 ●拍の流れを感じ取って、縄跳びうたを楽しむ。	◆わらべうたの旋律を聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら聴いている。 【鑑① 行動観察, ワークシート】 ◆拍の流れを感じ取って、友達と声を合わせて遊んだり歌ったりしている。 【技① 演奏聴取】
わらべうたを うたって た のしみましょう。	おちゃらか ほい	2	●拍の流れを感じ取って、「おちゃらか ほい」を楽しむ。 ●いろいろなわらべうたで遊ぶ。	◆拍の流れを感じ取り、速度の変化を工夫して、どのように表現するかについて思 いをもっている。 【創① 演奏聴取, 発言内容】 ◆日本のわらべうたを聴いたり歌ったりする学習に進んで取り組もうとしている。 【関① 行動観察, 演奏聴取】

題材名	8. おとをあわせてたのしもう (1~3月)	扱い時数の目安
		1 2 時間
題材のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●互いの歌声や楽器の音を聴き合いながら、気持ちを合わせて歌ったり演奏したりする。 ●楽器の響き合いに気づき、拍の流れやフレーズを感じ取りながら楽しんで聴く。 	
題材の意図	<p>1年生の音楽学習のまとめとなる本題材では、友達の歌声や楽器の音を聴きながら、音や気持ちを合わせて演奏する能力を育てることに重点を置いています。</p> <p>子供たちの発達段階に配慮しながら、互いの歌声や楽器の音を聴くために、あらためて友達の声に耳を傾ける活動から始め、最終的には、みんなの歌声や楽器の音を合わせることによって、さらに音楽の楽しみの場が広がることに気付くようにします。</p>	
学習指導要領との関連	<p>ア 音楽を形づくっている要素のうち、(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み</p> <p>イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語</p>	
	<p>A表現 (1) 歌唱ア・イ・ウ・エ (2) 器楽ア・イ・ウ・エ (3) 音楽づくりア</p> <p>B鑑賞 ア・イ・ウ</p> <p>〔共通事項〕ア (ア) 音色, リズム, 旋律, 強弱, 拍の流れ, フレーズ</p> <p>(イ) 反復, 問いと答え</p>	

※本題材の学習内容に関連する〔共通事項〕を例示し、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
<p>①友達の歌声や楽器の音に興味・関心をもって、互いに聴きながら表現する学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>②楽曲の気分を感じ取りながら範唱を聴いて歌ったり、階名で模唱したり暗唱したりする学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>③友達の楽器の音を聴きながら合奏する学習に進んで取り組もうとしている。</p>	<p>①自分や友達の声の強弱を聴き取り、山びこのようにまねる面白さを感じ取りながら、声の出し方を工夫している。</p> <p>②音色やリズム、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出す面白さを感じ取りながら、演奏の仕方を工夫し、どのように表現するかについて思いをもっている。</p> <p>③フレーズを聴き取って、楽器の響きの違いを感じ取りながら、音の出し方を工夫し、どのように表現するかについて思いをもっている。</p>	<p>①友達の歌声を聴きながら自分の声を合わせたり、強弱の違いを表現したりして歌っている。</p> <p>②範奏を聴いたり、絵譜を見たりし、音色に気を付けながら拍の流れを感じ取って演奏している。</p> <p>③互いの歌声や音を聴き、声や楽器の組合せによる響きを感じ取りながら歌ったり演奏したりしている。</p>	<p>①旋律の反復や強弱の違いを聴き取り、楽曲全体にわたる気分を楽しんで聴いている。</p> <p>②拍の流れを感じ取りながら体を動かし、行進曲の楽しさに気付いて聴いている。</p>

学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	目 安 扱 い 時 数 の	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
たがいの こえを ききあい ながら うたいましょう。	やまびこ ごっこ ☆やまびこあそび	1 2	●互いの声を聴き合って「やまびこあそび」をして楽しむ。 ●楽曲の気分を感じ取って歌う。 ●拍の流れを感じ取って交互唱をする。 ●強弱の違いを感じ取って歌い方を工夫する。	◆自分や友達の声の強弱を聴き取り、山びこのようにまねる面白さを感じ取りながら、声の出し方を工夫している。 【創① 行動観察】 ◆友達の歌声を聴きながら自分の声を合わせたり、強弱の違いを表現したりして歌っている。 【技① 演奏聴取】
うたごとと がっきの おと を あわせて えんそうしま しょう。	とんくるりん ぱんくるりん	3 4 5	●楽曲の気分を感じ取って歌う。 ●拍の流れを感じ取って、副次的な旋律を演奏する。 ●打楽器のパートを加えて演奏の仕方を工夫する。 ●拍の流れを感じ取って、歌と楽器を合わせて演奏する。	◆友達の歌声や楽器の音に興味・関心をもって、互いに聴きながら表現する学習に進んで取り組もうとしている。 【関① 行動観察, 演奏聴取】 ◆音色やリズム, 旋律を聴き取り, それらの働きが生み出す面白さを感じ取りながら, 演奏の仕方を工夫し, どのように表現するかについて思いをもっている。 【創② 演奏観察】 ◆範奏を聴いたり, 絵譜を見たりし, 音色に気を付けながら拍の流れを感じ取って演奏している。 【技② 演奏聴取】
たがいの がっきの おとを ききながら えんそうしま しょう。	こいぬの マーチ	6 7・8 9 10	●楽曲の気分を感じ取って歌う。 ●音色に気を付けて, 旋律楽器を演奏する。 ●歌に合わせてリズム伴奏の仕方を工夫する。 ●互いの音をよく聴きながら, 拍の流れを感じ取って合奏する。	◆楽曲の気分を感じ取りながら範唱を聴いて歌ったり, 階名で模唱したり暗唱したりする学習に進んで取り組もうとしている。 【関② 演奏観察, 演奏聴取】 ◆フレーズを聴き取って, 楽器の響きの違いを感じ取りながら, 音の出し方を工夫し, どのように表現するかについて思いをもっている。 【創③ 演奏観察, 演奏聴取】 ◆互いの歌声や音を聴き, 声や楽器の組合せによる響きを感じ取りながら歌ったり演奏したりしている。 【技③ 演奏聴取】 ◆友達の楽器の音を聴きながら合奏する学習に進んで取り組もうとしている。 【関③ 演奏聴取, 演奏観察】
おんがくを たのしみなが ら ききましょう。	♪ラデツキー こうしんきょく	11 12	●楽曲の気分を感じ取って聴く。 ●拍の流れや強弱の変化を感じ取って聴く。 ●楽曲の気分に合わせて体の動きを工夫しながら聴く。	◆旋律の反復や強弱の違いを聴き取り, 楽曲全体にわたる気分を楽しんで聴いている。 【鑑① 行動観察, 発言内容】 ◆拍の流れを感じ取りながら体を動かし, 行進曲の楽しさに気付いて聴いている。 【鑑② 発言内容, 行動観察】